

欠席委員からのご意見

平成20年9月29日

国土交通省 中国地方整備局

欠席委員からのご意見

○ 高杉千賀子委員

- ・ 過疎化と森林の荒廃が進んでいることも、上流では大きな問題である。地域住民が協力して、森林を守ってきたが、過疎化の進行により難しくなっている。
- ・ 上流では川の水を汚さないよう取り組んでいる。下流の住民にも上流の取り組みを解ってもらうことが大切。
- ・ 川を安心して利用するためには、水に親しむための空間の整備・管理が引き続き大切。
- ・ 水生生物調査等の環境教育を今後も行っていくことが大切。
- ・ 下流デルタ域でシジミが多く採れると聞くが、そのような良好な河川環境を今後も維持することが大切。
- ・ 河川景観の維持のため、不法係留対策を進めることは大切。
- ・ 太田川水系河川整備計画の目標及び対処方針（利水・環境等）については概ね了解。

欠席委員からのご意見

○ 高杉千賀子委員

- ・ 安芸太田町では、太田川の水位が上がり避難したり、太田川沿いの小学校のグラウンドが浸水したり台風のたびに不安があった。治水対策の必要性を実感している。
- ・ 過疎化と森林の荒廃が進んでいることも、上流では大きな問題である。地域住民が協力して、森林を守ってきたが、過疎化の進行により難しくなっている
- ・ 上流では川の水を汚さないよう取り組んでいる。下流の住民にも上流の取り組みを解ってもらうことが大切だと思う。
- ・ 川を安心して利用できる場の創出や、水生生物調査等の環境教育を今後も行っていくことが大切。
- ・ 治水について、流下能力が少ない危険な箇所から順番に整備していくことが必要。
- ・ 太田川水系河川整備計画の目標及び対処方針については概ね了解。

○ 永井明博委員

- ・ 洪水調節施設の調査・検討を行う際には、過去の洪水や降雨特性を十分検討する必要がある。
- ・ 河川の日常的な管理については、市民やNPOと協働で行っていくことが大切である。
- ・ 太田川河川整備基本方針の計画規模は1/200年であるが、1/200年を超える規模の洪水も起こりえること、ハード整備には限界があることを住民に認識してもらう必要がある。また、災害による被害軽減のための防災情報の提供や自主防災の機能強化といったソフト対策が大切である。
- ・ 太田川水系河川整備計画の目標及び対処方針については概ね了解。